

つしん日和 びより

第96号
2024.6

企業紹介

食品製造・販売

松川食品株式会社



代表取締役 金田 久克氏



上／京鴨®のとり皮
左／京鴨®の鴨脂
どちらも試供品の提供が可能



右／松川の焼き鳥。職人技の“ねじり巻き刺し”で絶妙な焼き加減を実現している。

松川食品株式会社（真庭市上水田）は、昭和40年の創業以来、「おいしい・うれしい・だいすき」をモットーに、岡山県産の鶏肉を中心とした食品加工業を営んでいる。同社の提供する焼き鳥や手羽先は顧客から高い評価を得ており、「一度食べると他では食べられなくなる」との声もある。

約50年にわたって食品加工に携わり、食肉について豊富な知見を持つ同社は、新商品として「京鴨®の鴨脂」と「京鴨®のとり皮」の発売を予定している。京鴨®は、山城農産株式会社が生産する、徹底した衛生管理のもと専用飼料で育成された高品質なブランドあい鴨のこと。豊富な脂皮から丁寧に抽出した「純度100%」の鴨脂を鴨せいろやラーメンの隠し味として使用すれば、上質な鴨の風味を手軽に取り入れることができる。「京鴨®のとり皮」は加熱済みのため、軽く炒めればすぐに使うことができ、スピードメニューの材料に最適。アレンジもしやすく、様々な料理に使用することができる。

現在は発売に向けて最終調整段階であり、試供品の提供も行っているとのこと。新メニューを検討している飲食店の方は問い合わせせてみては。

松川食品株式会社
住所：岡山県真庭市上水田 2400-2
TEL：0866-52-3122
定休日：水・日・祝日

営業時間：9：00～16：00
毎月第3日曜は工場直売の「食肉祭り」開催。
(8月は曜日関係なく13日のみ。12月は第3日曜と30日の2回開催。)

HPはこちら



和洋菓子製造・販売

有限会社板屋



代表取締役 福島 康人氏

有限会社板屋（勝田郡勝央町岡）は、慶應2年（1866年）創業の6代続く老舗和洋菓子店。手作りにこだわり、地域ゆかりの商品である「姿見ようかん」や「滝川もなか」「板屋のポーロ」など、昔ながらの製法を受け継いだ伝統の和菓子の味を守りつつ、ケーキや焼き菓子といった本格的な洋菓子も販売しており、幅広い年齢層から人気を集めている。

1970年代半ば頃、5代目社長である福島寛治氏が洋菓子の販売を開始。同時期に店内に喫茶

スペースを設置し、以来40年以上にわたって地域の人々の憩いの場として愛されている。

同店は、2024年4月6日にリニューアルオープンした。移転後の新店舗にも変わらず喫茶スペースが設置されており、こだわりのインテリアと食器で同店のお菓子を味わいながら、ゆったりとした時間を過ごすことができる。

これからも、心を込めた手作りのお菓子と憩いの場を提供し、地域のみなさんに笑顔をお届けしていく。



固めのプリンに濃厚なバニラアイスに乗せたプリンアフォガード。エスプレッソの苦味との相性は抜群。喫茶ではエスプレッソマシンを使用したカフェラテ、カプチーノ等のドリンクも楽しむことができる。



どら焼き、最中など豊富な和菓子を取り揃えており、進物用の詰め合わせも承っている。

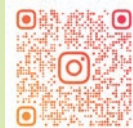


上/リニューアルオープンした新店舗
左/新店舗の喫茶スペース。社長のこだわりの品である椅子はひとつひとつが職人の手作り。

有限会社板屋
住所：勝田郡勝央町岡 25-1
TEL：0868-38-2070

定休日：火曜日（祝日は営業）
営業時間：8：30～19：30
（喫茶 9：00～18：00 L.O）

インスタで
お知らせを
配信！



「お取引先様との懇親の夕べ 特別講演会」を開催しました。

2024年4月22日（月）に津山鶴山ホテルにて、株式会社ワコールホールディングス前代表取締役社長・安原弘展氏を講師としてお招きし、お取引先様向けの特別講演会を開催しました。

約250名の方々にお越しいただいた本講演会では『時代の変化を見る視点』を

テーマに、中国での駐在経験を軸に、国や地域による消費者の考え方の違いについて、グローバルな視点からお話をしていただきました。その他にも「女性の年代によるインナーのあり方の違い」や「現代の若年層の価値観について」等、貴重なお話をしていただきました。



▲上／講師：安原 弘展氏 下／交流会の様子



▲新店舗のラウンジ。木目を活かした木の温もりを感じられる内装となっており、ドリンク片手にゆっくりとくつろいでいただけます。

二宮支店の新店舗が プレオープンしました。

2024年5月7日（火）に、当金庫の二宮支店の新店舗がプレオープンいたしました。新店舗は、脱炭素社会実現に向けて、地元県産材である『美作ひのき』をふんだんに使用した建物といたしました。開放的な吹き抜けの大空間を有するラウンジは、木の温かみを感じながらゆっくりとくつろぐことのできる憩いのスペースとしてご利用いただけます。

秋の正式オープン（9月頃を予定）までの間、旧店舗の取壊しでご不便をおかけいたしますが、新店舗におきましても地域の皆様のお役に立てるよう、より一層努めてまいりますので、引き続きよろしくお願いいたします。

「津山市ワーク・ライフ・ バランス推進企業」に 認定されました。

当金庫は「津山市ワーク・ライフ・バランス推進企業」※に認定され、2024年4月25日（木）に津山市役所にて認定証授与式が行われました。

当金庫ではこれからも、誰もが働きやすい職場環境づくりを進めてまいります。

※津山市では、仕事と生活の両立や男女がともに働きやすい職場環境づくりなど、ワーク・ライフ・バランスに積極的に取り組む企業を「津山市ワーク・ライフ・バランス推進企業」として認定しています。



▲津山市役所で行われた認定証授与の様子。今回で三度目の認定となりました。

⚠ 投資詐欺にご注意ください! ⚠

以下は、実際にあった事例です。

SNSの広告で知り合った著名人のアシスタントと友人になり、メッセージアプリで投資情報を意見交換。投資サイトに誘導されて実際に数万円を投資し、1~2万円の利益を獲得。すると今度は著名人から直々に投資の指南があり、投資サイトで投資を実施。金額は数十万~数百万へエスカレート。利益も順調に増加し数千万円の儲けに！しかし解約しようとする、数百万円の手数料(または保証金)が必要と言われた。手数料を振り込んだものの解約金の入金はなく、著名人とも連絡が取れなくなり、結局数千万円を騙し取られた…。

これは
詐欺です!



詐欺グループは、本物そっくりの偽の投資サイトを作成し、あなたの投資が儲かっていると嘘の情報を見せて、さらにお金を要求します。そんなおいしい話はありません。投資は、金融商品取引業の登録を受けている信用できる業者を利用しましょう。



美作の国 雑感

～信用金庫って銀行?～

理事長 松岡 裕司



2024年3月末の全国の信用金庫の数は254金庫、北は北海道稚内から南は沖縄まで全国津々浦々7,077店舗のネットワーク網を有しています。総預金額は161兆円、国家予算・一般会計総額が112兆円ですので規模的にもBigな業界です。加えて全国個々の信用金庫の業務機能の補完やセーフティネットの役割を担っている中央機関・信金中央金庫は、総資産47兆円を超える我が国有数の機関投資家でもあります。又、最大規模の信用金庫は京都中央信用金庫で総資産は7兆円に迫っています。信用金庫も地域経済規模によって大小さまざまではありますが、規模的にBigな金庫も数多くあります。

さて、皆さまは、金融機関としての業務は同じなのに信用金庫と銀行、名前も違うし、どこがどう違うのかなと思いませんか。それは、設立の根拠法が違うのです。信用金庫は信用金庫法に基づく協同組織の金融機関、銀行は銀行法に基づく株式会社の金融機関です。信用金庫は、法的には地域で頑張っておられる中小・零細の事業者や個人の皆さまに対して金融サービスを提供することになっています。営業区域も本店所在地を中心とする地域の中で活動し地域金融機関として親しまれています。日本で最初に設立された信用金庫は144年の歴史ある島田掛川信用金庫です。つしんは5月25日が創立記念日で、あと3年で100周年を迎えることとなります。

私たちつしんのビジョンは、持続可能な作州地域の実現に向かって邁進していくことです。今後とも、“作州地域に信用金庫があって良かった”と地域の皆さまにご愛顧いただけるよう誠心誠意精進してまいります。

公式 Instagram

つやつや
< 津山信用金庫 >

フォロー&いいね
お待ちしております!



LINE



LINEの
お友達登録も
お願いします!



※つしん日和に関するご意見・お問い合わせは当金庫HP「お客さまの声」からお願いたします。

編集発行:事業所応援部

TEL:0868(22)4136

FAX:0868(22)8637

MAIL:s1735017@facetoface.ne.jp

(つしん日和第96号:2024年5月24日発行)